



問 藤久保1区内の建設予定地近隣住民は、町長宛に「高さの変更を業者へ指導」等を求める陳情書を提出したが、町はどのように対応したか。

答 まちづくり推進課長 陳情書を重く受けとめ、事業者と協議を進めてきたが、適法な申請内容で開発許可を下ろさないわけにはいかなかった。

問 これまでの町並みや環境を守るために、「絶対高さ型高

Q 高層マンション建設に「絶対高さ制限」の導入を！
住環境破壊を食いとめるための条例制定

公明党 内藤美佐子

問 度地区の決定」等にて高さ限度を定め、建築確認で効力あるように条例を制定しては。

答 まちづくり推進課長 公的ルールとして分かりやすく有効な制度なので、地域住民の意見を聞きながら検討する。

◆自転車安全利用の推進

問 自転車のかわる事故が増加しており、自転車の走行ルールを子どもの時に教えることが必要と考えます。県制度で実施されている「子ども自転車免許証制度」を全小中学校で実施できないか。

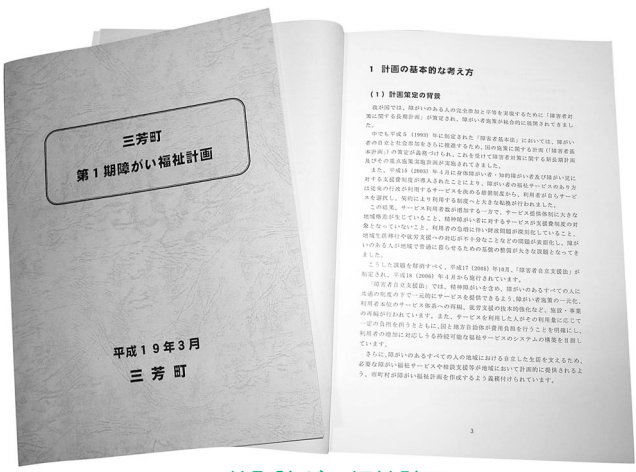
答 学校教育課長 各小中学校に自転車走行の指導充実と事故防止の徹底を図る。

答 自治環境課長 免許証制度は有効なので、関係機関と協議し、拡大できるよう努力し

問 当町における「障がい者福祉計画」の自立支援給付及び、地域生活支援事業の進捗

Q 『三芳町障がい福祉計画』の実現に向けて
町の機関を通して障がい者に職場経験を

21クラブ 高橋忠一



三芳町障がい福祉計画

問 障がい者福祉計画の進捗状況は。

答 健康福祉課長 自立支援給付には、介護給付・訓練等の給付があり、地域生活支援事業には、相談支援・コミュニケーション支援事業等があり、これらに関し前向きに取り組んでいく。

問 地域自立支援協議会の設置状況は。

答 健康福祉課長 現在要綱ができています。できるだけ早く協議会設立に向け努力していきます。

問 平成23年度までに、年間一般就労者数を3人とする目標値を設定しているが、その達成については。

答 自治環境課長 検討してみたい。

◆家庭用消火器メンテナンスについて

問 消防法改正による住宅用火災警報器設置義務及び消火器メンテナンスの告知は。

答 自治環境課長 消防署で行っている。

問 消火器メンテナンスは、件数を集めた方が安価で済むが、自治会単位で実施しては。

答 自治環境課長 検討してみたい。

非常災害時の即応体制
職員体制と自主防災組織

21クラブ 山田政弘



防災訓練

問 大規模災害時の出動体制は、どのようになっているか。

答 自治環境課長 地域防災計画では、待機・警戒・非常の各体制により出動する。

問 非常災害を想定して、職員集合訓練を実施してみているか。

答 自治環境課長 関係部署と協議をして、年度内に実施の方向で進めたい。

問 自主防災組織の育成を強

力に進めてはどうか。

答 自治環境課長 被害を最小限に食いとめるため、初期消火は極めて重要と思われるので、組織化を推進したい。

問 自主防災組織へ防災服・ヘルメット等の助成は。

答 自治環境課長 現状では助成制度がないが、組織化された際には、備品・消耗品の支給・貸与を考えたい。財政支援については、予算編成時に検討する。

◆高齢者対策について

問 生きがいを持つて生活するための具体策は。

答 高齢者支援課長 各担当課と連携を図り、世代間交流等を進めたい。認知症等の対策強化は。

答 高齢者支援課長 地域包括支援センターにおいても総合相談等によ

Q 「防犯条例」の制定などで
安心・安全のまちづくりを！
中3まで、子ども医療費を無料化に！

公明党 岩城桂子

問 子ども医療費が小学6年まで無料化になったが、近い将来、中学3年まで無料化する考えは。

◆子育て支援策について

問 延長保育時間を現在の19時から20時にできないか。

答 子ども家庭課長 職員等のこともあり課題としたい。

問 民間が設置予定の保育所の現在の状況はどうか。

答 子ども家庭課長 設置が認可され交付金の内示もあり、20年4月の開所予定である。

◆他の質問 町道拡幅する場合の幅員の規定について



青色回転灯を装備した自主防犯パトロール車(青パト)

◆都市計画道路の進捗状況

問 みずほ台通りからみずほ台住宅への計画道路は。

答 まちづくり推進課長 測量委託の結果を見た上で検討。

問 幹線21号線(三芳東中よりみよし台集会所)の歩道整

備について伺いたい。

答 道路下水道課長 引き続き用地交渉をしていきたい。

◆防犯のまちづくり

問 犯罪状況と町の対策は。

答 町長 次の議会下校時に青パトを巡回させるシステムを導入したい。

問 人口の最も多い藤久保方面に交番の設置は。

答 自治環境課長 現状は厳しいが、強く要望していく。

問 防犯条例の制定は。

答 自治環境課長 近隣の自治体の条例を参考に研究協議していきたい。

◆男女共同参画社会の推進

問 審議会への女性の参画や提言への取り組みはどうか。

答 企画財政課長 みよし男女共同参画プランを作成し、企業への啓発を図りたい。

◆他の質問 ①スパー防犯灯の設置 ②防犯カメラ設置等に対する助成制度の創設 ③DVに対する取り組みについて



選挙ポスター掲示場

問 三芳町の体育館の使用料は近隣市と比較して安いですが、アウトドアの運動公園使用料が富士見市の4倍、ふじみ野市の約4倍、所沢

◆体育施設使用料金を改定を

問 三芳町の体育館の使用料は近隣市と比較して安いですが、アウトドアの運動公園使用料が富士見市の4倍、ふじみ野市の約4倍、所沢

問 どの程度の大型車の通行が可能になるか。
答 総合政策室長 周囲の道路状況にもよりますが、長さ12m以下、幅2.5m以下、高さ3.8m以下を...

問 有権者が直近の投票所に行けるよう工夫してもらいた
答 総務課長 懸垂幕・選挙広報等を利用して啓発活動を行...

選挙の投票率アップを図るには
21クラブ 久保俊和
い。例えば第7投票所に近いチエルシーガーデン・グランシアの有権者が、中央公民館まで足を運んでいるのが現状だが。

大震災！ 三芳の建物は大丈夫ですか？
安心・安全なまちづくりへ向けて
大空 菊地浩二

問 昨年の合同防災訓練での訓練想定は。
答 自治環境課長 埼玉県南部を震源とする、最大震度6

問 公共工事の脱税合
三芳町の公共工事の落札率が95%と高値落札となっているが、どうしてか。
答 総務課長 事前に予定価格を公表していることも高値落札の要因かとも思える。

市との比較で約3倍から6倍と非常に高い。審議会の開催時期はいつか。
答 スポーツ振興課長 受益者負担については、7月に第1回の審議会を持ち、年度内に結論を出したい。

◆保育所の耐震化について
問 町内3箇所の保育所の耐震性はいかがか。
答 ことも家庭課長 法的義務はあるが、まだ耐震診断を実施していない。来年度から順次実施していく予定である。

◆県内71自治体中70位
問 昨年4月時点で、小中学校の耐震化率が16%しかなく、県内ワースト2位と対策が大変遅れている現状について、どのような認識をしているか。
答 総務課長 財政状況や耐震診断を優先した結果と考える。年次計画を策定し、耐震化を促進する。

◆住宅の耐震化促進政策は
問 志木市では耐震診断・耐震化工事の補助金を交付している。三芳町ではこういった助成はあるか。
答 まちづくり推進課長 現時点においては無い。



藤久保小学校体育館

三芳町スマートICのフルインターチェンジ化について
大型車の通行はどうなるか
ウイング 山口正史
問 どの程度の大型車の通行が可能になるか。
答 総合政策室長 周囲の道路状況にもよりますが、長さ12m以下、幅2.5m以下、高さ3.8m以下を...



竹間沢通学路

第2ふれあいセンター設置促進
温泉つきの憩いの場、保健・福祉の複合施設を
民主党 原 武範
問 町長のまちづくりに掲げる政策中、第2ふれあいセンター設置構想に、近隣にある温泉つきの機能を加味した、老若男女、全町民参加型のふ

◆10期会前の道路整備は
幹線19号線、藤久保882番地43先の道路舗装整備の進捗状況及び同番地内の雨
答 町長 高齢化が進む中で、そのような施設は必要である。大きな施設でもあり、まちづくり懇話会等での声を聞きながら進めたい。

◆雨水対策は根本的見地で
(1)藤久保946番地付近の雨水排水路、(2)藤久保114番地付近の雨水路、その場的でなく、根本的に先を見込んだ計画的な対策が必要では。
答 道路下水道課長 (1)は幹線5号線拡幅時に行う。
答 町長 (2)は計画中の土地区画整理事業で整備する予定。



ふれあいセンター